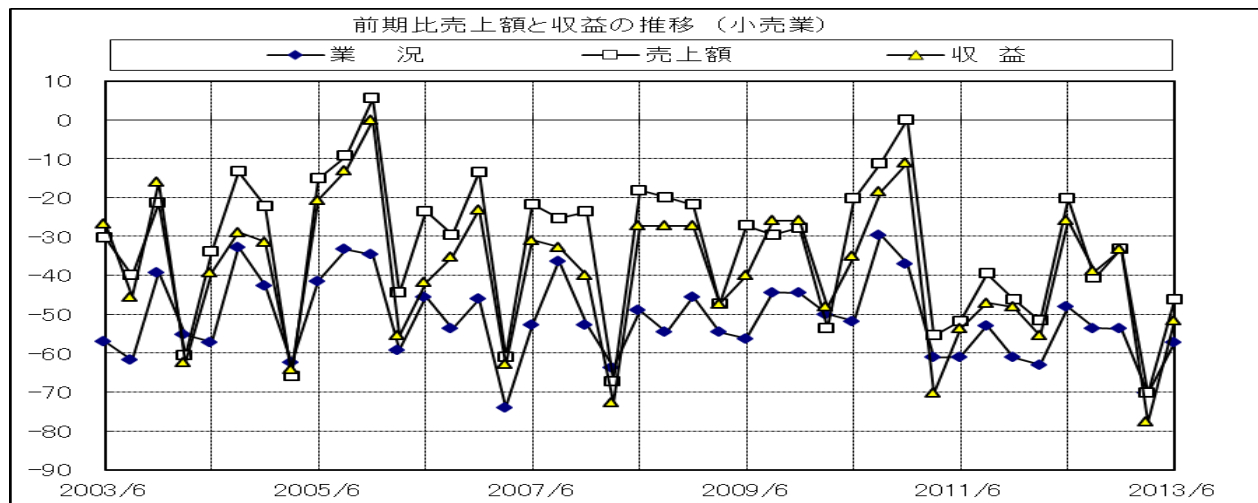


小 売 業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-53.7	-70.3	-57.3	-44.4
売上額	-33.2	-70.3	-46.3	-22.2
収 益	-33.3	-77.7	-51.7	-29.6

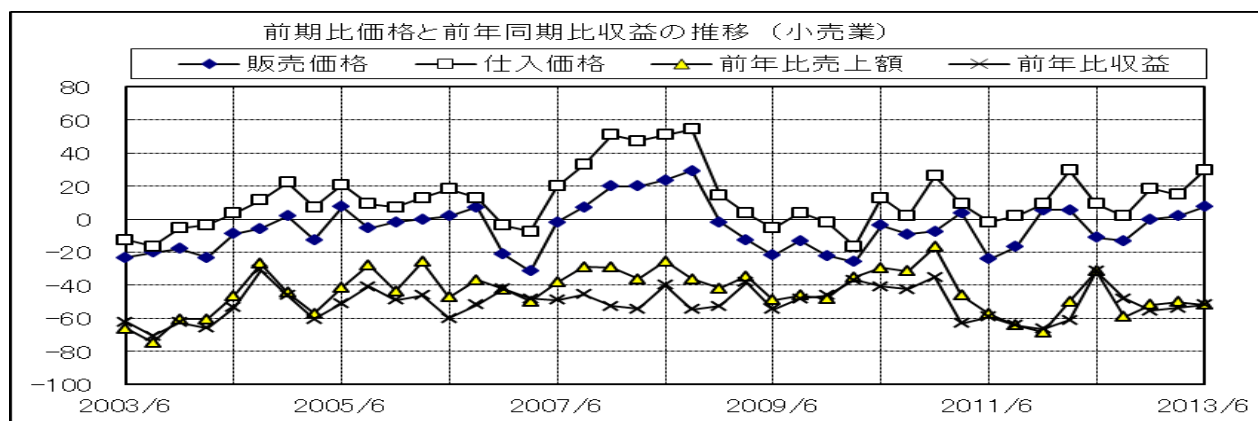
今期の業況判断DIは△57.3と、前期比13.0ポイント上昇した。地区別にみると、浦河、静内、三石、えりも地区で上昇、様似、広尾地区ではほぼ横ばいとなった。ただし前年（△48.1）比では9.2ポイントの下降となった。売上額判断DIは△46.3と、前期比24ポイント上昇した。収益判断DIは△51.7と、前期比26ポイント上昇し低下基調を弱めた。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	0.0	1.8	7.5	0.0
仕入価格	18.5	14.8	29.6	18.5

販売価格判断DIは7.5と、前期比5.7ポイント上昇した。仕入価格判断DIは29.6と、前期比14.8ポイント上昇、価格上昇基調を強めた。業種別にみると、食料品は販売価格がほぼ横ばい、衣料品、家電品は上昇した。仕入価格は衣料品、食料品、家電品で上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-1.9	-14.8	-16.7	-14.9
人手状況	-18.5	-11.1	-1.9	-3.7

残業時間判断DIは△16.7と、前期比1.9ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは△1.9と、前期比9.2ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

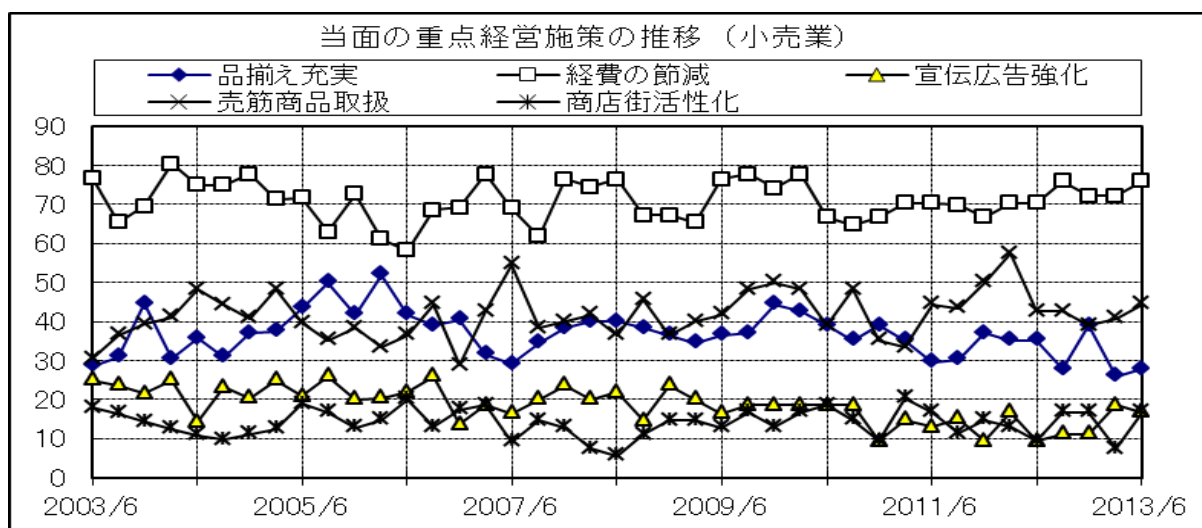
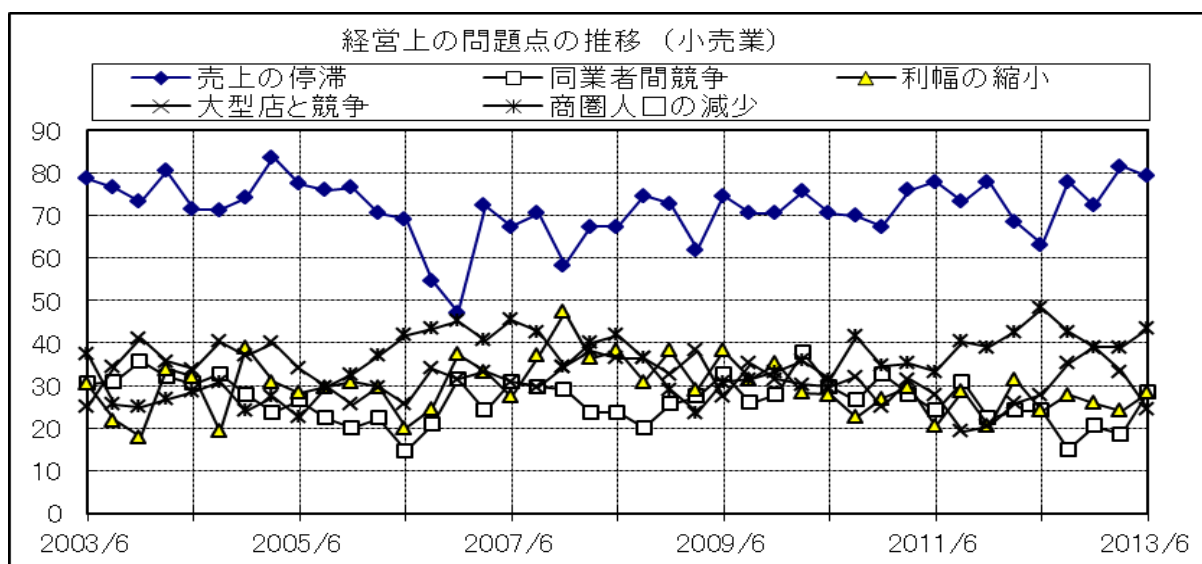
設備投資の充足感を示すD Iは△9.3と、前期比1.8ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は5.6%と、前期比7.4ポイント下降し前期の7社に対し3社の実施となった。来期の設備投資は今期と同じく3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ79.2%、次いで「商圈人口の減少」43.4%、「同業者との競争」「利幅の縮小」が同率の28.3%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ75.9%、次いで「売れ筋商品取扱い」44.4%、「品揃えの充実」27.8%、「仕入先を開拓選別」18.5%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△44.4と、今期比12.9ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは△22.2と、今期比24.1ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iも△29.6と、今期比22.1ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iはゼロ水準で、今期比7.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D Iは18.5と、今期比11.1ポイントの下降を見通している。

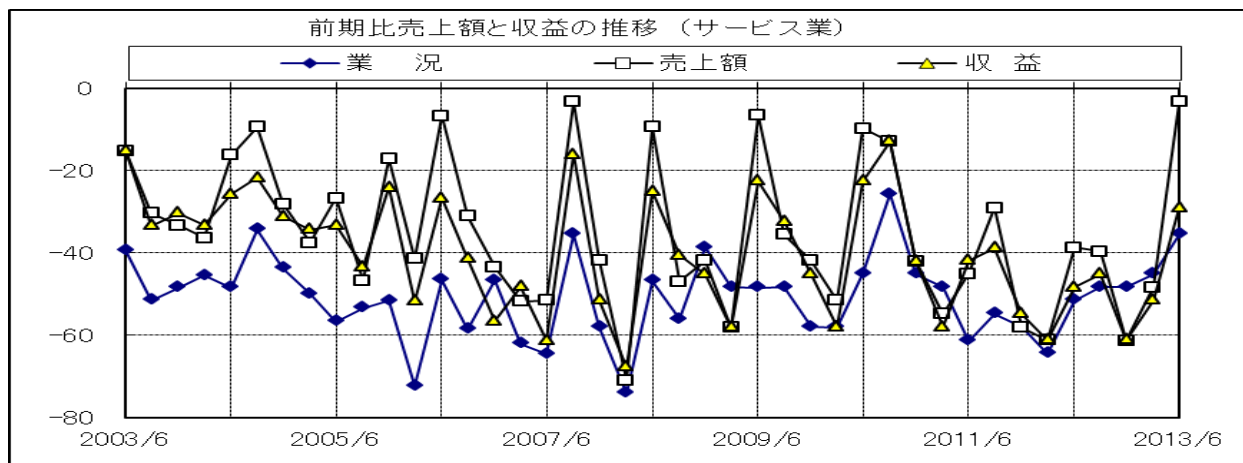
サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-48.4	-45.2	-35.5	-51.6
売上額	-61.3	-48.4	-3.2	-32.2
収 益	-61.2	-51.6	-29.1	-35.4

今期の業況判断DIは△35.5と、前期比9.7ポイント上昇した。地区別にみると、静内、三石、様似、えりも地区で上昇し、浦河、広尾地区で下降した。業況判断DIは、前年（△51.6）比でも16.1ポイント上昇した。

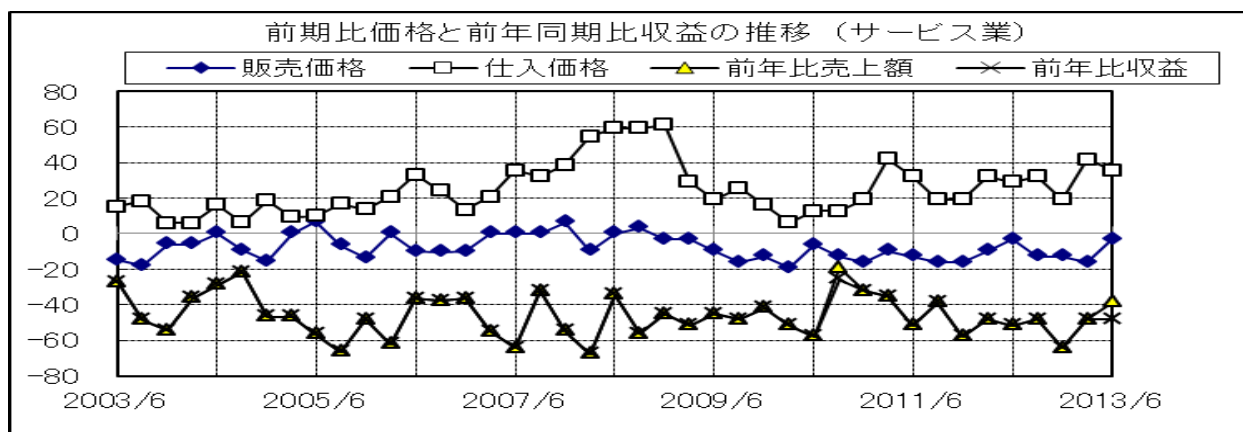
売上額判断DIは△3.2で、前期比45.2ポイント上昇した。収益判断DIは△29.1と、前期比22.5ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
料金価格	-12.8	-16.2	-3.3	-9.7
材料価格	19.4	41.9	35.5	19.4

料金価格判断はDI△3.3と、前期比12.9ポイント上昇した。材料価格判断DIは35.5と、前期比6.4ポイント下降し、価格上昇基調を弱めた。業種別にみると洗濯理美容業は、料金価格、材料価格ともに上昇した。旅館業は料金価格は上昇、材料価格は下降した。自動車整備業では料金価格は横ばい、材料価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-19.4	-25.8	-16.2	-6.5
人手状況	-6.4	-16.1	-19.3	-19.4

残業時間判断DIは△16.2と、前期比9.6ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△19.3と、前期比3.2ポイント下降し人手不足感を強めた。

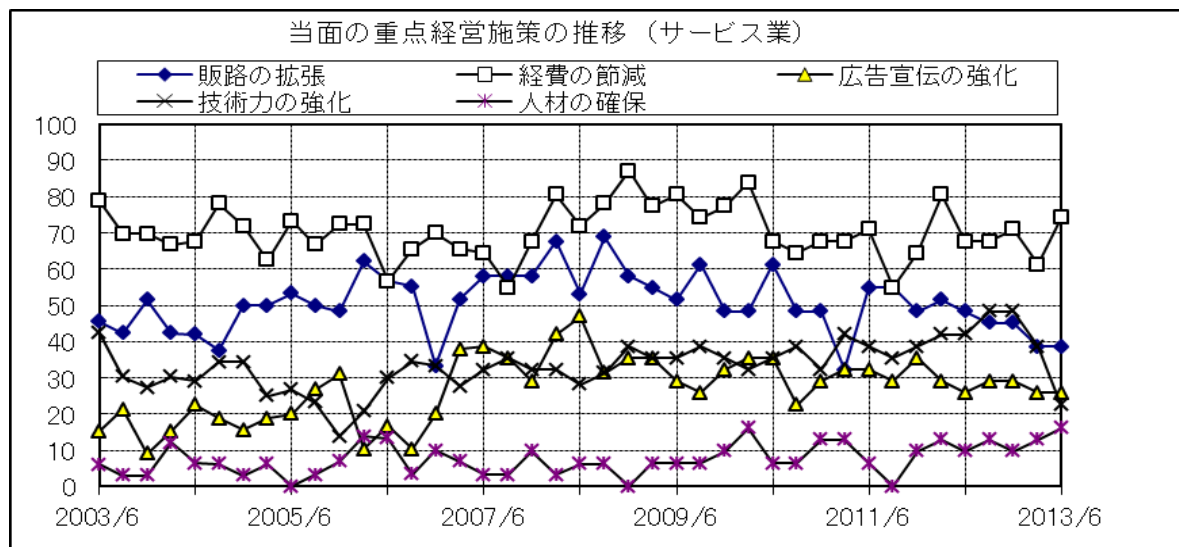
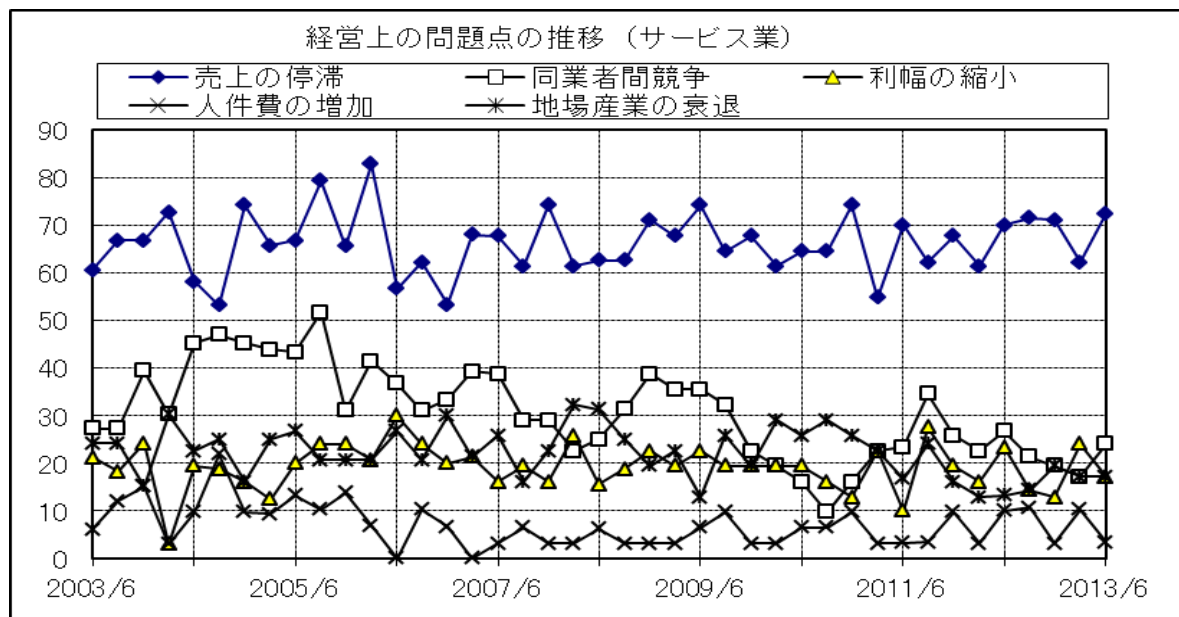
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△16.1と、前期比 16.2 ポイント上昇し不足感を弱めた。
設備投資実施企業割合は 19.4%と、前期同数の 6 社の実施となった。
来期の設備投資は、4 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ 72.4%、次いで「商圈人口の減少」41.4%、「材料価格の上昇」27.6%、「同業者との競合」24.1%、「利幅の縮小」「店舗設備の老朽化」「地場産業の衰退」が同率の 17.2%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ74.2%、次いで「販路を広げる」が38.7%、「宣伝広告の強化」25.8%、「技術力を強化する」22.6%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△51.6と、今期比 16.1 ポイントの下降を見通している。
予想売上額判断D Iは△32.2と、今期比 29 ポイントの下降を見通している。
予想収益判断D Iは△35.4と、今期比 6.3 ポイントの下降を見通している。
予想料金価格判断D Iは△9.7と、今期比 6.4 ポイントの下降を見通している。
予想材料価格判断D I 19.4は、今期比 16.1 ポイントの下降を見通している。